



2025年9月9日

各 位

会 社 名 株式会社INFORICH

代表者名 代表取締役社長兼執行役員Group CEO 秋山 広宣

(東証グロース市場、コード：9338)

問合せ先 執行役員Group Corporate Planning & IR担当 青木 拓也

メール：ir@inforichjapan.com

(開示事項の経過)

イタリアでの「ChargeSPOT」運営開始のお知らせ

当社子会社であるINFORICH EUROPE LTDが、2025年9月8日（現地日付）から、イタリアで「ChargeSPOT」の運営を開始しましたので、下記の通りお知らせいたします。

本開示は、2025年2月13日付適時開示「当社子会社によるイタリアへの「ChargeSPOT」展開準備開始およびTHUN社との業務提携に関する覚書（MOU）締結のお知らせ」の経過に関するものです。

記

1. イタリア市場参入の理由

当社は「Bridging Beyond Borders -垣根を越えて、世界をつなぐ-」というミッションのもと、海外発のビジネスモデルを日本に、そして、日本の技術力を海外に展開することを目指しております。2024年10月25日には、今後の欧米圏を含むグローバルでの展開の加速を視野に入れ、イギリス子会社を設立いたしました。その後、ヨーロッパでの具体的な展開エリアと各エリアにおける展開方法（直営/フランチャイズ/JVなど）を検討してまいりましたが、この度イタリアで直営展開を開始します。

イタリアは、欧州内でドイツ、フランス、イギリスに続く第4位の人口を有する国です。国土面積が相対的に小さいことから、欧州の中で最も人口密度が高い国のひとつでもあります。当社が運営するモバ

イルバッテリーのシェアリングサービスにおいては、人流とバッテリースタンドの設置密度が重要であるため、人口が密集していることはサービスの展開効率に利する点であると考えられます。

観光客数が多いこともイタリア市場の特徴で、国連世界観光機関が発表した2023年の国際観光客到着数ランキングでは、フランス、スペイン、アメリカに続いて第4位に入っています。イタリア国家統計局の調査では、2024年は1億3,400万人が訪れており、中でもローマとミラノの観光客数が増加しています。来年2026年にはミラノ・コルティナダンペッツォ冬季オリンピックの開催も控えており、今後も観光客数は増加すると考えられます。観光客にとってデジタルデバイスの充電の確保は不可欠であるため、モバイルバッテリーのレンタル需要も旺盛であると想定できます。

当社は、シェアリングサービスを展開する上では、そのエリアの環境意識も重要な要素になり得ると考えています。当社のシェアリングサービスを使用することで、モバイルバッテリーを購入して使用する場合と比べて約42%のCO2排出量を削減することができます[※]。イタリアは2022年に「循環型経済のための国家戦略」（STRATEGIA NAZIONALE PER L'ECONOMIA CIRCOLARE）を発表し、シェアリングサービスの普及を目指すことを明示しています。このことから、今後、シェアリングサービス全体が発展していくことが予想されます。

現在イタリアには数社のモバイルバッテリーのシェアリングサービスを運営する事業者がいますが、設置台数は主要数社をあわせても数百台ほどと限定的なため、INFORICHがアジア各国でモバイルバッテリーのシェアリングサービスの市場を開拓してきたノウハウを活かし、イタリアでの主要プレーヤーとなるべく市場形成に取り組んでまいります。またイタリア市場を皮切りに、その他欧州市場での展開も加速してまいります。

※ モバイルバッテリーを購入して1年間使用した場合を想定。アスエネ株式会社による算定。

2. 設置の詳細

当初の予定では6月中の運営開始を目指しておりましたが、現地法制への対応等に時間を要したことから、9月からの運営開始になりました。今後ミラノやローマといった都市部・観光地への拡大を進めていく予定です。

- 運営主体：INFORICH EUROPE LTD（当社子会社）
- 運営開始日：2025年9月8日（現地日付）
- 設置場所：ミラノ中心地のレストラン・カフェなどの飲食店、店舗
- 設置台数：100台（2025年9月中予定）

3. 今後の見通し

イタリアでの運営開始によって、2025年度には売上に0.4億円、EBITDAに△0.9億円、営業利益に△1.0億円の影響が出ると予想しております。このことは、2月13日に開示した2025年度の業績予想に織り込み済みです。

当初の運営開始時期からは数ヶ月の遅れが発生しておりますが、現時点で大きな計画の変更は見込んでおりません。今後開示すべきことができた場合は速やかにお知らせいたします。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(2025年2月13日公表分)及び前期連結実績

単位：百万円	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2025年12月期)	15,647	2,314	2,190	2,358
前期連結実績 (2024年12月期)	10,701	1,662	1,751	2,061